

令和7年度第1回世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会
議事要旨

◇開 会

◇会長あいさつ

- ・本協議会は、令和2年のプラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例を制定するにあたって、多くの議論をいただき、協議をしてきた中で条例が制定したという経緯のある協議会である。本協議会の大きな議論であったが、環境先進都市としての一つの具体的な取組としてレジ袋を禁止し、多くの市民の方に浸透しているところである。ありがたく思っており、感謝申し上げます。
- ・環境プロモーションセンターができ、多くの事業者との連携が成立し、まさに亀岡が環境先進都市への道筋を進んでいただいていること感謝申し上げます。
- ・今年は、昨年に完成した環境プロモーションセンターをどのように活かして新たな環境先進都市のプロモーションはもちろん、新しい事業連携、政策がその中から生まれて世界の流れを変えていけるような大きなうねりができるような施設ができているところで、この施設をしっかりと活用する、また現在どのように進められているかという報告を受けながら進めていきたい。
- ・本協議会でも令和7年度に様々な取組みをしていくということで考えておりますので、皆様も積極的に議論に参加していただいて忌憚なくご意見をいただいて意味のある会議にしたいと思っているため、よろしくお願いいたします。

◇議 事

議題1「令和6年度の取組について」(事務局説明)

(保津川遊船企業組合)

- ・事業連携協定の締結事業者は何者になったか。

(事務局)

- ・25者。

(保津川遊船企業組合)

- ・今まで事業連携された取組実績やパートナーシップ連携の中身を今後は紹介いただければと思った次第である。

(亀岡地区中部自治会)

- ・いろいろな施策をしていくのに数値的な評価や評価基準がいると思っている。業務評価のようなものが必要だと思うが、見解は。

(事務局)

- ・評価については必要だと思っている。プラ製レジ袋の提供禁止条例が本協議会の重要な案件だと思っており、その条例がもたらした効果として、エコバッグ持参率は98%を超えており、保津川に流れ着くごみとして1番多かったレジ袋が大きく減少した。その次にペットボトルが顕在化してきている。今度は顕在化してきたペットボトルを減らすために、各公共施設や企業に協力いただきながら色々な場所で給水スポットを増やしていくという取組も進めており、今では100ヶ所以上の給水スポットがあり、給水スポットを増やしマイボトルが普及することによって、ペットボトルの削減をしていきたい。今回の資料内に定量の成果を示してはいないが、ホームページなどで公表していきたいと思っている。また、昨年8月にオープンした環境プロモーションセンターでは、随時、指標や結果も紹介しているため、このセンターを基軸にして情報発信を進めていきたいと思っている。
- ・エコバッグの持参率については、お絵かきムービーの中でも指標を紹介している。
- ・定性的な評価だけでなく定量的な評価も発信していきたいと思う。

議題2「令和7年度取組について」(事務局説明)

(NPO 法人プロジェクト保津川)

- ・サッカー台のタイミー袋の削減は個人的にもやってほしいと思っていた。
- ・タイミー袋削減の啓発掲示について、ナッジ理論を使って「引き続き」という文言を入れているのだと思うが、何に引き続いているのか分からないのではないかと思う。
また、発信元を「亀岡市」や「環境先進都市かめおか協議会」にする方が良いと思う。

(事務局)

- ・仰るとおり、ナッジ理論を活用した表示にしている。日頃からしていただいていることを前提として、尚お世話になりたいという意味で文章的にはしている。
- ・掲示いただく事業者にはデザインや文言などの相談をさせていただく。
- ・掲示を見たお客から苦情などがあつた際の窓口として「亀岡市環境政策課」としていた。
「亀岡市」や「環境先進都市かめおか協議会」が良いということであれば柔軟に対応していく。

(保津町自治会)

- ・めぐる環物々交換市を今日初めて知ったが、どのように広報しているのか。

(事務局)

- ・めぐる環物々交換市については、主に市ホームページや市 SNS で随時発信している。広報誌への掲載も検討しているが、締め切りの関係もあり、今のところ発信できていない。

◇副会長あいさつ

- ・現在開催中の関西万博では、パーク内でのプラスチック製レジ袋の提供を禁止していたり、雨天時の傘袋の提供をしていなかったり、マイボトルに給水できるようたくさんの給水機が設置されているが、実は亀岡市の取組が参考になっている。
- ・三重県の鈴鹿サーキットで開催された F1 レースでも、レジ袋は禁止されており、自動販売機の商品もペットボトルは無い。コロナ明けの 3 年間でお客さんは右肩上がりに増えて今年は約 26 万人お越しになられたが、ごみは半減した。埋め立てごみが 0 になったとも聞いており、これに倣って環境先進都市亀岡市の取組みも皆様と一緒に進めていきたいと思う。

◇閉 会